

第51回 日本書展 審査所感

【漢字作品】辻元大雲 (つじもと だいうん)

毎日書道会常任顧問 全国書美術振興会理事 「日本の書展」現代書壇代表

第40回「日本の書展」開催を契機に、新企画として開催された「日本の書展」東京展公募臨書の部は、本年12回目を迎え順調に発展し、書表現の基礎力を養うまたとない貴重な企画展として発展してまいりました。今回展は出品点数が大幅に増加し、計1,135点のご応募をいただきました。本展に寄せられる多くの方々の関心の高さ、真剣に臨書学習に取り組む姿勢が強く感じられ、審査に当たっては1点1点にかける皆様の情熱、古典に立ち向かう厳しい姿勢、更に筆を持つ楽しさや奥深さを感じておられるお姿が目に見え、素晴らしい力作が数多く寄せられ、身の引き締まる思いでありました。

漢字部門の審査では1点1点丁寧に、原帖の特色を如何に捉えているか、表現技術の差など、審査委員全員でしっかり拝見させていただきました。各古典のポイント、用筆や運筆の違いによる差などは、普段からの基礎基本を如何に身に着けているかが正直に表れます。楷書作品では骨格のしっかり安定した作品や、多字数作品では全体構成のバランスなどが注視されました。行草作品では運筆のリズム、字形の確かさや潤渇の変化など全体構成が厳しく審査され、金文篆書など多様な古典臨書作品も多くみられました。

あらためて本展に挑戦される皆様のご努力に深く敬意を表したいと思います。半切大(1/2大)という定形での表現は、普段の実力がそのまま正直に表れます。日々の地道なご努力、飽きずにコツコツ継続する心持が大切です。

【かな作品】高木厚人 (たかぎ あつひと)

日展特別会員 読売書法会常任理事 全国書美術振興会理事 「日本の書展」現代書壇代表

中国から漢字が伝わり、またそこから仮名が生まれ、それらの文字が奈良、平安時代以来書き続けられる中で「用」から「美」が見出され、その「美」は今日まで脈々と受け継がれてきました。「日本の書展」東京展公募臨書とはまさにその書美を次世代につなぐ役割を担う一つの形と考えていいと思います。

さて、仮名は平安時代の中期後期に燦然と輝く古筆群が誕生して以来多くの人を魅了しています。その美に挑戦した公募臨書仮名部の今回の出品者は225名、入選率はおおよそ43%でした。

審査にあたっては線が立っているか、墨が絞られているか、リズムが貫いているのかなどの視点から作品に向き合いました。

仮名では原寸で模するのが基本です。まず形を真似、墨の扱いを真似、線の太細を真似、さらに線の質まで真似しなければなりません。しかしそれらを真似してそっくり書けば美の本質に迫れるかというところではありません。美しさは目に見えているところから伝わってくるのではなく、目に見えている姿の、その奥の対象の本質から発してくるものなのです。その本質を掴むにはまずは真蹟を見、そしてひたすら書くしかありません。

好きな古典を見つけ、次回に向けて書き始めましょう。読んで、文字を確かめ、意味を調べたら繰り返し写し書きをしましょう。古典を学べば学ぶほど創作作品を作る際にも力となるものです。臨書はすればするほど力がつくのです。

次回も作品をお待ちしています。

【篆刻作品】和中簡堂 (わなか かんどう)

日展特別会員 読売書法会常任理事 全国書美術振興会監事 「日本の書展」現代書壇代表

篆刻の習熟は摹刻によって培われますが、取り組む方法を間違えれば俗な模倣に終わってしまいます。目標とする一つの印に集中するだけでなく、その名人にどのような作品が他にあるのか、またそれが若年の作か、あるいは中年のものか、晩年の作品であるか知っておくのも大変勉強になります。一人の作家が歩んだ足跡を理解することも、後の制作活動への不可欠の要因で学ぶ人の指針ともなります。

今回の篆刻の応募はコロナ禍にありながらも増加を見ましたが、漢字、かなに較べてまだまだ存在感が薄いのは否めません。確かに篆刻は難しい分野ですが、どのような印を自用印にすればいいのか、また篆刻とはどういう世界なのか、そんなことを知る上においても摹刻という作業は、だれが経験してもいい勉強法です。膨大な時間を費やすことにもなり、避けられる傾向にあります。挑んでいただきたいものです。

応募作品は、落款も入った総合的に完成度の高いものを探りました。摹刻はいいのに款記に誤りがあり惜しくも落選した作品がありました。「摹」と記し「〇〇刻」とした同じ意味する語を重複させた人もいました。印影の精・粗にも差があり、出来る限り良い印影を出品するように工夫してほしいと思います。取り組んで見ると案外篆刻は面白いものです。戦国の古璽から二千年以上蓄積された名印がありますから、その表現の領域は創作へのヒントの宝庫といっても過言ではありません。大いに摹刻を奨励いたします。